

地域文化功労者表彰

城山神楽祭実行委員会に伝達

地域文化功労者表彰
 (文部科学大臣表彰)を
 受けた延岡市の市民クル
 ープ、城山神楽祭実行委

員会(山崎洋一会長)へ
 の伝達式が25日、同市役
 所であった。

式には、同委員会の山

崎会長、小野雅春さん、
 山本亮一さん、松羽正さ
 んらが出席。読谷山市長か
 ら賞状と記念品が贈呈さ



表彰を受ける山崎会長(右)

れた。

山崎会長は「受賞した
 のは応援や見に来てくれ
 た方のおかげだと思っ
 ている。早く世代交代を
 して、地域に根付かせたい
 」と話した。

同委員会は、1997
 年に1市2町の7神楽保
 存団体により設立され
 た。2003年には延岡
 城築城400年記念の一
 環として、ドイツ3都市

で公演。また、明治大学
 の公演や城山かくらま
 つりでは福岡県や福島県
 からの参加があるなど、
 県境を越えた広域的な活
 動も行っている他、さま
 ざまなイベントや式典で
 の披露や商業施設で写真
 展を開くなど地域文化の
 振興に尽力している。15
 年には県地域文化功労者
 教育長表彰を受賞してい

エコバッグを制作した北浦中1年生(12日) 撮影時のみマスクを外しました



ブドウで育てたカンパチ 神楽／地下の茶山／伊勢エビ



北浦の魅力がたくさん詰まったエコバッグが完成

北浦PRのエコバッグできた

中学1年生が制作「福島の中学生に渡します」

延岡市立北浦中学校
(川島正實校長、51人)
の1年生17人がデザイナー
を考えてきたエコ
バッグが、今月完成し
た。6月の福島県への

修学旅行で交流する中
学生に手渡し予定。エ
コバッグを通して、県
内外に地元をPRす
る。

昨年9月ごろからデ
ザインに取り組んでき
た。地元・北浦町の魅
力を発信しようと、同
町に限定して名産品や

ふるさと教育の一環
受け継がれてきた文化
について案を出し合
い、「市振神楽」地下の
茶山「伊勢エビ」など
八つを選んだ。
デザインは2、3人
一組で一つを担当。P

延岡

Rするには知ることが
大事」とインターネッ
トなどで調べ学習を行
い、デザインと一緒に
配る小冊子の説明文に
生かした。

イラストには、
キャッチコピーも添え
た。ブランド魚「五ヶ
瀬ぶらっこカンパチ桜舞
」(ATB)には、好
物はぶらっこ、メヒカリ
などを描き底引き漁
には「男は黙って底引
き」など、インパクト
のあるものを考えた。
エコバッグへの印刷
は、市内でTシャツの
プリントなどを行う企
業に依頼。一枚に四つ
のデザインを印刷し、
2種類のバッグを計1
50枚制作した。12日
には最後の授業があ
り、小冊子を添えて袋
詰めし、完成させた。

「市振神楽」を担当
した小嶋鈴央奈さん
(13)は「自分のふる
さとでも知らないこと
が多く、いっぱい知る
ことができて良かった。
初めて知ったこと
をもっと深く知りたい
と思った。エコバッグ
を通して、伝統を知っ
てほしいし、たくさん
の人に丁寧に使ってほ
しい」と話した。

- 延岡市立黒岩小中四年 梶本 凜乃
- 朝日がね
- 山と山に
- はさまれた
- 南の空に
- 上がるのかな
- 延岡市立黒岩小中四年 増田 七美
- 冬なのに
- なんでだろうか
- 寒くない
- 半そでなんて
- へっちゃらかも
- 延岡市立黒岩小中四年 甲斐 斗真
- しもはしら
- サクサクサクと
- いい音だ
- 延岡市立黒岩小中四年 内倉 玖音
- こおってる
- なにがこおってる
- ほくの耳

光子の子

〈FMのべおか〉 この作品は、月曜日の午前7時台と午後5時台に朗読します。

2024.2.27